

**I 学習を支える力の育成(学習規律を中心としたもの)**

**1 「にしぎきセブン」の実践**

(1)今年度の「にしぎきセブン」

<p>① あいさつ 「先に」 「さんづけ」 「いつでも・どこでも・だれでも」 * 正午から「こんにちは」(昨年度確認事項)</p> <p>② 準備の心 「次の授業の準備」 「予鈴がなったら座る」 「黙想」</p> <p>③ 姿勢 「立腰(りつよう):高学年向けの表現」 「グー ペタ ピン:低学年向けの表現」 * 授業始め・終わりに意識する →自己評価の基準 「上履きを履く」</p> <p>④ 残心(ざんしん) 「くつばこ」・・・入れる、そろえる 「こしかけ」・・・入れる 「トイレでは、スリッパ・上履き」・・・そろえる</p> <p>⑤ ろう下 「しずかに・右がわを・歩く」 「教室移動は2列になって歩く」</p> <p>⑥ 名札 「左胸に」「2つの穴を通す」</p>		<p>⑦ ふでばこ ア えんぴつ4本以上 イ 白い消しゴム ウ 赤えんぴつ・青えんぴつ エ ネームペン オ じょうぎ</p>
--	--	--

(2)実践

- ①毎学期の始業式及び臨時の長期休業明けに、全校集会で本取り組みの周知を図る。
- ②3学期には、児童会計画委員会を中心とし、代表委員会を通して、児童・学級・学年・委員会と連携して取り組みの改善を図る。

(3)定着を図る手立て

**短期集中的な視点**

- ①「にしぎきセブン 大集会！」 4月7日(木) 始業式内  
目的:全校同時に目指す姿を確認することで、集団として意識の高める。(児童間)  
全体で確認することにより、担任であるなしに関係なく、全職員体制で声かけを行い、児童の意識を高める。

「にしぎきセブン 大集会！」の流れ

9:00~9:15	全体会(体育館)→「西崎セブン(学習規律等)」「生徒指導」の確認 Meetでの校内放送 で行う。
-----------	---

8:55~9:15

学級指導(実践的な指導)

(1) 西崎セブンの各項目の確認を、ひとつひとつ実践的に行う。

①『① あいさつ』

ア 相手より先にあいさつを心掛ける

イ 「さんづけ」であいさつをする。→「〇〇さん、おはようございます

ウ 実際に、さん付けのあいさつを行う。

②『② 準備の心』

ア 授業が終わったと仮定して、シミュレーションを行う。

イ 予鈴がなったとして、シミュレーションを行う。

③『③ 姿勢』

ア パワーポイントに、姿勢の絵を見て、同じようにできているか  
確かめ、実践する。

イ 振り返りは、授業の最初と最後にできているかで判断することを  
伝える。

④『④ 残心』『⑤ ろう下』

ア 実際に、トイレに連れていき、

「脱いだ上履きの置き方」

「履き終えたトイレスリッパの置き方」

を確認する。

イ 上記アでトイレに連れて行くときは、

廊下で2列に並ばせ、

「しずかに・右がわを・歩く」

「教室移動は2列になって歩く」

を確認する。

ウ 靴箱での、くつをそろえることについては、下校指導の際に、  
指導する。

⑤『⑥ 名札』『⑦ ふでばこ』の2点は重点指導。

『⑥ 名札』

ア 「左胸に」「2つの穴を通す」ことの確認。実際にできているか、  
確認する。

イ 月曜日には全員がそろようにする。

→持っていない子には、週末でそろえるよう声をかける。

『⑦ ふでばこ』

ア 筆箱を開けさせ、実際にそろっているかを確認する。

イ 月曜日には全員がそろようにする。

→持っていない子には、週末でそろえるよう声をかける。

年間を通した継続的な視点

(3) 毎月1回の振り返り

① 毎月最終金曜日のクリアタイム(図1)に「西崎セブン振り返りカード」(図2)を記入。

② 学習支援員が、「西崎セブン振り返りカード」の集計を学級ごとに行い、結果を学推主任へ

③ 翌週月曜日の「西崎セブンの時間(8:15~8:25)」(図3)に、  
学級で重点的に取り組むことを決定する。

図2 「西崎セブン振り返りカード」

(毎月最後の金曜日は、「西崎セブン」)
<b>クリアタイム</b> <b>1:35~1:50</b>

図1 「クリアタイム」の時間

	月	火	水	木	金
<b>8:00~8:15</b>	朝の読書				
<b>8:15~8:25</b> (4・9・1月の火曜日は、 学級担任による読み聞かせ)	①西崎セブン ②朝の会 ③朝の会 ④朝の会	読み 聞かせ	ドリルタイム (国語)	①朝の会 ②全体朝会 ③朝の会 ④学年朝会	ドリルタイム (算数)
<b>8:25~8:30</b>	準備	朝の会	朝の会	2,4朝の会	朝の会

図3 「西崎セブンの時間(8:15~8:25)」

## 集中的な取り組み(各学期の始めの1か月)

(4) 継続指導について(以下のスケジュールで定着を図る。←スパイラルで高める・深める)

	実施日	内 容
目標をもつ	4月7日(木)	「西崎セブン!大集会」 ①全体会:パワーポイントを使った全体確認。 ②学級指導:学級での具体的な取り組み指導。
振返り	15日(金) 13:35~13:50	「クリアタイム」時間内に、「西崎セブン振り返りカード」を記入する。 →特に、「③姿勢」については、「授業の最初と最後にできているかで判断すること」を確認する。 書き終わったら、廊下側のカウンターに置く。 →学習支援員が回収する。
集計	15日(金)の 16:00までに 18日(月)の 8:00までに	学習支援員が、「西崎セブン振り返りカード」の集計を学級ごとに行い、結果を学推主任へ提出 ----- 学推主任が、各学級担任へ集計結果を伝達
目標をもつ	4月18日(月) 8:15~8:25	「西崎セブン」の集計結果をもとに、学級として重点的に取り組むことを定め、行動に移す。 →児童間・担任で、継続的に声かけを行う。
振返り	22日(金) 13:35~13:50	「クリアタイム」時間内に、「西崎セブン振り返りカード」を記入する。 →特に、「③姿勢」については、「授業の最初と最後にできているかで判断すること」を確認する。 書き終わったら、廊下側のカウンターに置く。 →学習支援員が回収する。
集計	22日(金) 16:00までに 25日(月)の 8:00までに	学習支援員が、「西崎セブン振り返りカード」の集計を学級ごとに行い、結果を学推主任へ報告 ----- 学推主任が、各学級担任へ集計結果を伝達
目標をもつ	25日(月) 8:15~8:25	「西崎セブン」の集計結果をもとに、学級として重点的に取り組むことを定め、行動に移す。 →児童間・担任で、継続的に声かけを行う。
振返り	28日(木) 13:35~13:50	「クリアタイム」時間内に、「西崎セブン振り返りカード」を記入する。 書き終わったら、廊下側のカウンターに置く。 →学習支援員が回収する。
集計	28日(木) 16:00までに 28日(木)の 8:00までに	学習支援員が、「西崎セブン振り返りカード」の集計を学級ごとに行い、結果を学推主任へ ----- 学推主任が、各学級担任へ集計結果を伝達
取り組み	2日(月) 8:15~8:25	8:15~8:25に、「西崎セブン」の集計結果をもとに、学級として重点的に取り組むことを定め、行動に移す。 →児童間・担任で、継続的に声かけを行う。

### Ⅲ 学習指導

#### 1 家庭学習

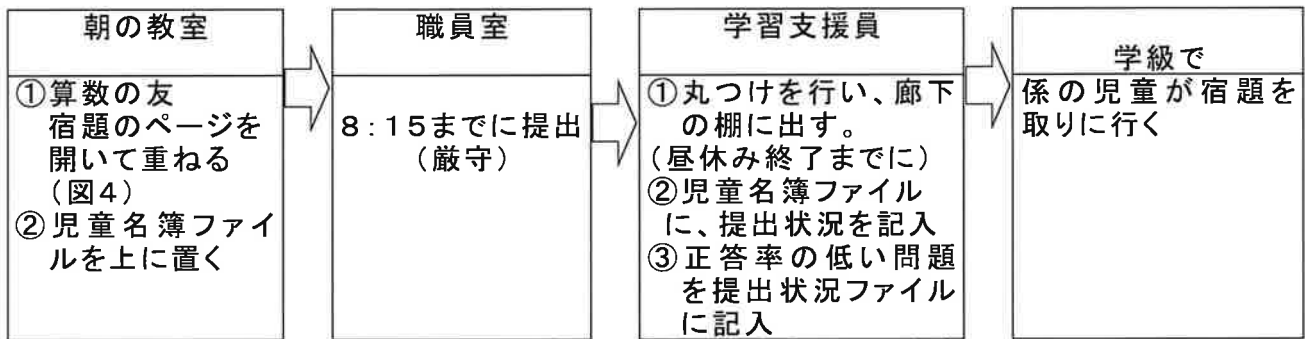
##### 全学年共通の宿題量・内容(基本)

- (1) 全学年で音読
- (2) 全学年・・・「がんばり1ページ相当（漢字練習等）」(国語プリントをノートに貼ることは可)  
「算数の友1ページor算数プリント1枚」  
\*「算数プリント」は、一つ下学年のプリント(前学年の既習内容の定着を図る)  
\*「算数の友」を基本とし、授業進捗と算数の友の内容が合わない場合に、プリントを出す。
- (3) 平日・休日共通とする。
- (4) 基本的に「宿題なし」の設定はしない。  
ただし、学年でそろえるなら可。
- (5) 学年統一の上での量の変更可。
- (6) 1年は2学期から合わせる。



図4 宿題の出し方

##### 学習支援員による宿題のチェック



\* 正答率の低い問題や提出状況は、児童名簿を使ってお知らせします。

#### 2 計画的な家庭学習

- (1) 生活振り返りカードの実践
    - ① ねらい  
家庭と連携し、家庭学習を含めた1日の生活リズムを振り返り、よりよい生活リズムの構築と計画的な家庭学習の実施を目指す。
    - ② 時期・回数  
ア 各学期1回ずつ。  
イ 一週間程度
  - (2) 「家庭学習の手引き」を使った指導
  - (3) 頑張りノートの見本となる取り組み例の紹介
- \* 上記(1)～(3)については、後日細案を提案予定。

#### 3 定着診断テスト(図5)

- (1) 目的  
算数の授業内容の確認テストを毎週行うことで、その週での授業内容の定着を図る。
- (2) 実施スケジュール
  - ① 毎週火曜日のクリアタイムに実施
  - ② 木・金曜日に正答率の低い問題の解説等を行う。
  - ③ 翌週月曜日に再テストを行う。
- (3) 担当
  - ① 作問は、学年の定着診断テスト担当が行う。  
(印刷は、火曜日実施分、月曜1回目分の計2回分)
  - ② 採点は、学習支援員が行う。
  - ③ 学年ごとのデータを定着診断担当(主:教務)がまとめ、各学級にデータ提供を行い、各担任は振り返りで活用する。

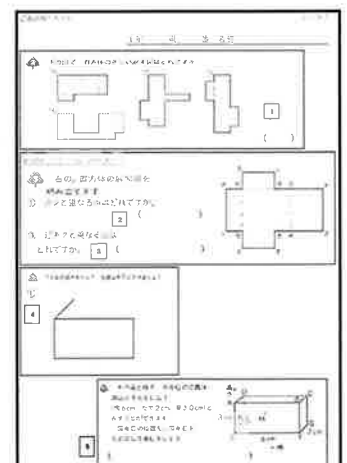


図5 定着診断テスト

(4)実施の流れ

	月	火	水	木	金
学級	【クリアタイム】 ① 定着診断テスト再テストの実施	【クリアタイム】 ① 定着診断テストの実施 ② 実施後、学習支援員が回収	クリアタイムなし	【クリアタイム】 ① 集計表をもとに定着診断テストの振り返り	【クリアタイム】 ① 集計表をもとに定着診断テストの振り返り
作問担当者			① 定着診断テストの作成	① 定着診断テストの作成	① 用務員への印刷依頼 ② 問題のデータを学推のフォルダへ入れる。 ③ 解答を学習支援員へ

3 補習

(1)補習の対象

- ①「全国学力学習状況調査」(4月19日)  
→全職員体制
  - ②「学びの確かめ」(6月、2月予定)  
→各学年で対応
  - ③県学力到達度調査(2月14日)
- \* 詳細は後日提案

Ⅲ 生活面(規範意識・マナーの向上を目指す)

そろえて指導していくこと

(1) うわばき

- ① 必ず履く。  
→安全面(火災・地震なども念頭に指導)
- ② 正しく履く。(かかとをつぶさない)

(2) 名札の着用

- ① 左胸に
- ② 穴を2つ通す
- ③ 重ね着をしても、見えるようにつける。  
\* 名札がなければ、不測の事態に対して、児童の本人確認が行えない。
- ④ 留める補助具を使ってもよい。

(3) 教室移動は2列で静かに(通年で取り組みます)

目指す姿

「児童だけで、静かに教室移動。  
教室に戻ったら、次の時間の準備をして休憩」

【目指す姿(主体性)へのステップ】

- ステップ① 教師を先頭に、2列になって移動する。(担任は、移動先での着席まで指導)
- ステップ② 教師は最後尾で、2列になって移動する。(担任は、移動先での着席まで指導)
- ステップ③ 教師は、児童の列を離れて見守り、児童は自分たちの力で移動する。  
着席も児童で行う。(担任は見守る)

\* ステップ①～③までの共通実践

教室に戻ったら、次の時間の準備をする。(事前に準備することも可)

\* ステップの変更は、各学級担任の判断で行う。

\* 実態の応じて、ステップを戻すことも可。

\* 3校時が移動教室の時は、3校時直前ではなく、2校時終了後に移動する。

#### (4) 給食準備・片付け(4月で形をつくる)

- ① エプロンを帽子も含めて着用。
- ② 学級ごとに2列で移動。
- ③ 静かに移動する。
- ④ 給食室では、給食委員に「お願いします」「ありがとうございました。」と言う。
- ⑤ 大型連休前までは、学年でそろえて出発し、学年から一人、指導にあたる。

#### (4) 給食準備・片付け 目指す姿

「静」と「動」のある準備時間。  
「静」の食事時間。

「静」・・・給食当番以外  
「動」・・・給食当番

- ① エプロンを帽子も含めて着用。
- ② 学級ごとに2列で移動。
- ③ 静かに移動する。
- ④ 給食室では、給食委員に「お願いします」「ありがとうございました。」と言う。

\* 食事中は、校内放送を聞くよう指導する。(委員会)

#### (5) 放課後誰も残さない(完全下校の実施)

- ① 完全下校時間10分後に、週番が放送を行い、児童玄関を施錠
- ② 施錠後は、玄関の取っ手に札をかける。「施錠しました。事務室横玄関から出ましょう。」
- ③ 4月は、担任が児童玄関まで連れて行き、くつをそろえる指導も行う。

#### (6) 下校後に兄弟等を待つ場合

- ① 兄弟を待つ児童は、以下の中から選択する。  
ア 兄弟の学年のフロアで静かに待つ。  
(各学年フロアに、長テーブル(2つ)とイスを用意する。宿題可)  
イ 外で待つ  
ウ 図書室で待つ。
- ② 担任は、待つ児童を把握し、待ち方を指導する。

#### (7) 学童を待つ児童について

- ① 静かに並んで待つ。
  - ② 走り回らない。
- 【4月集中指導】  
学童児童がいる学級は、学童児童を学童待機場所まで見届け、前述の①②の指導を行う。

#### (8) 下校後の忘れ物を取りに来た時の対応

- ① 児童玄関施錠後は、職員室で、学級担任(いなければ学年)に声をかけ、教師が付き添って忘れ物を取らせる。

#### (9) 「休み時間」から「準備時間」へ

- ① 1・3校時あとの10分間……………「準備時間」  
2校時あと、昼……………「のびのびタイム(休み時間)」
- ② トイレを優先する時間(授業中のトイレを無くしたい)
- ③ 予鈴で着席の状態を目指し、予鈴終わりには黙想

## IV 担任による読み聞かせを通した学級作り

- 4・9・1月の最初の2週間の火曜日は、担任による読み聞かせを行う。  
→4月は、ボランティアの準備ができるまで。(5月中?)  
→読み聞かせ用の本は、相談室にあります。

## V 学校のテーマ作り(4月)

○4月に児童会を中心に「学校のテーマ」を作成し、それを受けて、各学級は「学級目標」を作成。  
→児童会計画委員会が中心となる。

## VI 放課後の時間(参考)

	月	火	水	木	金
1週	教材研究 (国語・算数)	学級事務	教材研究 (道徳・その他) 職員終会	学年会	委員会活動 運営委員会 14:55～
2週	教材研究 (国語・算数)	学級事務	教材研究 (道徳・その他)	学年会	校内研修 15:15～
3週	教材研究 (国語・算数)	職員会議 15:00～	教材研究 (道徳・その他)	学年会	学級事務
4週	教材研究 (国語・算数)	学級事務	教材研究 (道徳・その他)	学年会	いじめ防止委員会・ 生徒指導教育相談 委員会 15:00～